

公益財団法人京都市芸術文化協会
令和4年度（2022年度）事業実績報告

目 次

I 自主事業

- 1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供・・・2
- 2 各種芸術文化事業の実施及び奨励・・・2
- 3 芸術文化に関する教育及び普及・・・3
- 4 芸術家等の育成及び顕彰・・・4
- 5 その他会員関連活動・・・4

II 受託・共同主催事業

- 1 市民狂言会（共同主催）・・・6
- 2 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出・・・6
- 3 伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催）【9ページに掲載】
- 4 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2022（共同主催）
【10ページに掲載】
- 5 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託）・・・8
- 6 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）の運営（受託）・・・8
- 7 京都市助成金等内定者資金融資制度（融資窓口業務）・・・8
- 8 京都市自治記念式典オープニング・・・8
- 9 芸術家と企業とのネットワーク形成・・・8

III 芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センターの運営）

【活動センター機能】

- 1 伝統的芸術の継承・創造事業・・・9
- 2 芸術家・芸術関係者育成事業・・・10
- 3 先駆的・実験的事業・・・11
- 4 制作・発表支援事業・・・11

【情報センター機能】

- 1 芸術文化情報の収集・発信事業・・・13
- 2 教育普及事業・・・13

【交流センター機能】

- 1 国際交流事業・・・14
- 2 市民及び芸術家相互の交流事業・・・15
- 3 地域・学術・産業との連携事業・・・16
- 4 ネットワーキング・・・16

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立が図られる中で、「京都芸術センターにおける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に基づく対策を徹底しつつ、「自主事業」「受託・共同主催事業」「芸術文化活動拠点施設（京都芸術センター）運営事業」において様々な事業を実施し、芸術文化の振興に取り組みました。

運営面においては、情報セキュリティ及びハラスメントの防止に向けた研修の実施、インターネットを通じた寄附の受け入れに着手する等、組織体制の強化とともに、財務基盤の強化に向けた取組にも着手しました。

I 自主事業

会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業を通じて、各分野における活動の拡充と芸術文化の普及・振興を図っています。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 文化誌『藝文京』の発行

「文化・ビジネス・アート」を特集した文化誌『藝文京』通巻142号を発行しました。特集記事では、京都×アート×ビジネスの動向に関する取材、寄稿、解説を掲載したほか、文化庁移転を記念して開催した座談会の内容も収録しました。

また、文化誌『藝文京』は、京都の芸術文化や当協会の歩みを記録するアーカイブの役割も担っており、既刊(バックナンバー, No.129～141)については協会ウェブサイト上で公開しています。

第142号 発行：令和4年3月

主な内容：〈特集〉文化・ビジネス・アート、「社会形成の原点としての文化」、座談会「文化庁がやってくる！」他



(2) 協会ウェブサイトの運営

協会ウェブサイトでは、自主事業、会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報を発信しています。

また、税制上の優遇措置の対象となる公益財団法人である当協会への寄付について、オンライン上でクレジットカード決済／銀行振込のいずれかの手法で寄付が可能となるウェブサイトを開発しました。

- ・ページビュー数：②25,686件/①28,195件
- ・会員催事情報件数：②35件/①33件（中止や延期も含む）

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 第73回華道京展（共同主催）

京都市、京都いけばな協会、(公社)京都市観光協会と共同主催し、当協会が事務局を担う「華道京展」を、3年ぶりに大丸ミュージアム<京都>で開催し、30流派182名が「花と遊ぶ」をテーマに競演しました。

開催日：令和4年4月7日～4月12日

(2) 市民狂言会 (共同主催) 【後掲】

(3) 各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)

会員等が実施する事業に対して、後援(60件)の支援を行いました。

3 芸術文化に関する教育及び普及

(1) 藝文京芸術教室～ゲイジユツのミカタ～

令和4年度は、芸術や文化をより立体的に、広い視野で捉えることを目指して、京都で開催される展覧会を訪ね、現地で学ぶ鑑賞ツアーを実施しました。

「美術」分野で「現代美術」「工芸」「書道」の3つを取り上げ、レクチャーを受けた後に、実際の展覧会に足を運びながら、各分野の魅力や楽しみ方を紐解きました。

開催日 (令和5年)	内容	主な会場	講師	参加者数 (人)
2月8日	〔現代美術編〕 鏡としてのアーティスト：アンディ・ウォーホルと社会	京都市京セラ美術館	安河内 宏法 (京都芸術センター プログラムディレクター)	12
2月21日	〔書道編〕 読む？見る？ 味わう！書に出会う愉しみ	大丸ミュージアム<京都>	白井 進 (京都書道連盟顧問) 西村 大輔 (京都書作家協会 事務局長)	20
3月10日	〔工芸編〕 村山明にきく、 人間国宝・黒田辰秋	アサヒビール 大山崎山荘美術館	村山 明 (木工芸家/京都市芸術文化協会 副理事長)	11



書道編

開催日：令和5年2月21日



工芸編

開催日：令和5年3月10日

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 京都いけばなプレゼンテーション 2022

「いけばなの日」(6月6日)に合わせ、いけばな発祥の地京都から魅力を発信する展覧会を開催しました。

「華やいだ暮らし～薔薇を楽しむ」をテーマに、展覧会には29流派の47名から45点の出品があったほか、市内薔薇農園主催者のトークイベント、薔薇製品の販売、いけばな体験を実施しました。また、専用ウェブサイトでは、ショートムービーの公開で気軽にはじめられるいけばなを提案しました。

開催日：令和4年6月4日～6月6日

(2) 京都ビッグ・バンド・フェスティバル(共同主催)

新型コロナウイルスの影響により2年連続で開催が中止となる中、令和4年度は、令和5年2月5日(日)に開催を予定していましたが、協力いただいている京都府吹奏楽連盟の意向を踏まえて開催を見送ることとし、令和5年度からの再開に向けて準備をすることになりました。

(3) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰しました。

<令和4年度受賞者>

協会賞受賞者(分野)：今井真正氏(工芸)、桑原仙溪氏(華道)
松尾恵氏(芸術企画・芸術文化評論一般)

新人賞受賞者(分野)：真神啓仁氏(茶道)

5 その他会員関連活動

(1) 総会・懇親会

新型コロナウイルスの影響で2年連続中止としていましたが、7月7日に、3年ぶりに総会・懇親会を開催しました(会場：ホテルオークラ京都、参加者数：73名)。

なお、令和3年度京都市芸術文化協会賞を受賞された杵屋勝九郎氏に、幕開け演目として、長唄「松の翁」を披露いただきました。

(2) 協会の魅力発信事業(広報)

ウェブサイトや文化誌『藝文京』、協会リーフレット、各種事業を通じて協会の取組を広く発信しました。

(3) 【新規】藝文京サロン

芸術家による会員組織ならではの魅力を高める取組として、毎回多彩な話題提供者を迎え、意見や情報の交換を行う交流の場を新たに設けました。

文化芸術について語り合うと同時に、芸術文化分野だけでなく、学校、企業、行政など、あらゆる立場の方が交流し、当協会の文化芸術を軸としたネットワークハブとなることを目指して取り組みました。

毎月第一木曜日を定例として、ホストを近藤理事長が務め、話題提供者や参加者は幅広い分野から迎え、新たな交流が生まれました。

開催日：毎月第一木曜 9回開催(7, 8, 1月を除く)

場 所：京都芸術センター、前田珈琲本店

参加者数：のべ287人

	開催日	話題提供者 ()は主な肩書
①	4月7日	近藤誠一(公益財団法人京都市芸術文化協会理事長)
②	5月5日	前田 剛(前田珈琲代表取締役社長)
③	6月2日	橋本 昇(京都情報大学院大学 産官学連携推進センター 事務局長)
④	9月8日	大垣 守可(大垣書店/堀川新文化ビルディング)
⑤	10月6日	川崎陽子(京都国際舞台芸術祭 2022 共同ディレクター)
⑥	11月3日	太田 達(立命館大学食マネジメント学部特別招聘教授)
⑦	12月1日	赤松 玉女(京都市立芸術大学 学長)
⑧	2月2日	山中 博昭(京都市文化芸術政策監)
⑨	3月2日	倉田 翠(akakilike 主宰/ダンサー・演出家)



開催日：9月8日

話題提供：大垣守可氏(大垣書店)



開催日：12月1日

話題提供：赤松玉女氏

(京都市立芸術大学学長)

Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」等に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施しました。

1 市民狂言会（共同主催）【再掲】

新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守しつつ、4公演を開催しました。
入場者総数は、前年度の698名に対し、令和4年度は831名でした。

2 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出

(1) 文化芸術授業（ようこそアーティスト）（受託）

京都市内の小学校等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行いました。当協会会員の協力をはじめ、京都芸術センターが持つ芸術家のネットワークや実績を活かして新規分野の開拓も行いました。

開催日：令和4年9月2日～令和5年2月17日

場所：京都市内の小学校等 60箇所

実施回数：115回

受講者数：計3,598人

(2) 伝統公演授業（ようこそ和の空間）（受託）

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる会場で、伝統芸能を鑑賞する授業です。

令和4年度は、前年度に新型コロナウイルス感染症の影響による中止のため実施を見送った学校のうち、7校を対象に、能「船弁慶」、狂言「口真似」、邦楽の生演奏による日本舞踊「藤娘」の公演を実施しました。

開催日：令和5年2月10日（1日2公演）

場所：京都観世会館

参加校：7校

参加人数：872名（生徒：804名、引率教員：68名）

(3) 【新規】京の伝統文化体験事業「放課後も！ようこそアーティスト」（受託）

「京の伝統文化体験実行委員会」（事務局：京都市）からの受託事業として、市内児童館を対象に「伝統芸能」「伝統文化」分野のプログラムを提供しました。

1箇所複数回の実施を試行し、経験を積み重ねたことで、子どもたちの興味関心が一層深まる様子が見られました。

開催日：令和4年12月3日～令和5年2月18日

場所：京都市内の児童館 9箇所

受講者：のべ 500人



松陽児童館（書道「書初め」）

開催日：令和5年1月4日



向島南児童館（邦舞）

開催日：令和5年2月18日，

（4）【新規】京の伝統文化体験事業「親子でも！ようこそ和の空間」（受託）

「京の伝統文化体験実行委員会」（事務局：京都市）からの受託事業として、小学校5年生～中学生とその保護者を対象に、能「敦盛（半能）」、狂言「柿山伏」、邦楽の生演奏による日本舞踊「屋敷娘」の公演を実施しました。

専用ウェブサイトでの事前学習用映像資料の公開や、ジュニア文化観光大使向けの質疑応答コーナーなど、伝統芸能に親しむための工夫を盛り込んだことで、参加者から好評を得ました。

開催日時：令和5年2月11日（1日2公演）

場所：金剛能楽堂

対象：小学校5年生・6年生・中学生及び保護者

参加者数：262名（内、小学生100名、中学生24名）



能「敦盛」（能楽協会京都支部）



常磐津「屋敷娘」
（音羽菊寿寿社中）



会場内の様子

（5）教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演（受託）

公益財団法人札幌市芸術文化財団からの受託事業として、本格的な能舞台を使用し、次世代へ向けて能楽を普及することを目指した舞台を開催しました。コロナ禍により2回延期となりましたが、30代・40代の若手の能楽師による舞台を無事に開催することができました。（企画制作：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス）

3 伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催）【後掲】

4 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2022（共同主催）【後掲】

5 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを管理し、世界中からアーティストやAIRに関する情報を集約しました。ウェブサイト「AIR_J」のデータベース整備と相談窓口の運営を継続して実施しました。

また、今後の施策の展開に向けた基礎資料とするため、市内の文化芸術にかかわる施設・団体を対象に、アンケート調査を実施しました。

6 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）の運営（受託）

文化芸術に携わる方々の様々な相談に総合的に対応するため、情報コーナー内に専用カウンターを設け、相談員が相談対応と情報提供、各種講座の開催を行いました。

ウェブサイトも活用した補助金・助成金等支援情報の提供や、士業相談（法律・税務）、心理相談（メンタルケア）、各種講座（インボイス制度、確定申告等）、各界で活躍する方を迎えた「ゲスト相談員の日」等を開催しました。

（令和4年度相談件数：653件）。

7 京都市助成金等内定者資金融資制度（融資窓口業務）（受託）

芸術家の資金面の負担を軽減し、芸術活動の支援と芸術家の育成を図るため、文化庁等から助成の内定を受けた個人又は団体に対して無利子で資金融資を行う京都市の制度です。令和4年度は、延べ10団体に対し合計27,814千円を融資しました。

8 京都市自治記念式典オープニング（受託）

10月15日に開催される京都市自治記念式典のオープニングにおける、いけばなと邦楽の共演に係る企画・運營業務を受託し、実施しました。

出演者：西阪保則氏（華道）、三好芫山氏（邦楽）、大谷祥子氏（邦楽）

9 【新規】芸術家と企業のネットワーク形成（受託）

多様な文化芸術の蓄積や想像力と、産業政策のスタートアップ支援等を融合した新たな取組として、ソーシャルビジネスやスタートアップなどの企業・起業家向けに京都芸術センターの制作室等をオフィス等として貸し出す、芸術家と企業のネットワーク形成事業を受託しました。令和4年度は、拠点の設置に係る各種準備等を行いました。

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成 12 年 4 月から、京都市からの業務委託を受けてセンターを運営しており、平成 18 年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営しています（現在、令和 5 年度～令和 8 年度指定管理者に選定）。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

令和 4 年度は、サラーム海上（音楽評論家・中東料理研究家）を席主として招き、「2022 年グローバルミュージックの最前線」「中東音楽入門」「映像で聴くグローバルミュージック没頭体験」と各席のテーマを変え、12 月 3 日に開催しました。

お菓子は中東の焼き菓子、お茶はトルコのサモワール式チャイが提供され、席主のトークとフィールド映像と共に堪能する茶会となりました。



開催時の様子

(2) 伝統芸能文化創生プロジェクト

京都市と共同で実施している伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（略称：TARO）では、伝統芸能文化に関する個人や団体のネットワークの構築や基礎調査、相談窓口の設置を継続的に続けているほか、伝統芸能文化を現代に適応した形で活性化することを目指す「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」を行っています。

令和 4 年度は、同プログラムとして、2 件の新規事業を公募により採択し、令和 4 年度以前に採択し継続している事業と併せて、合計 8 件の事業を実施しました。

- ①若手へ向けた鯖江人形浄瑠璃の技能継承と他地域との交流
- ②社・東条を中心とした播州音頭踊りの継承と発信プロジェクト
- ③十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信
- ④新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索
- ⑤見島のカセドリ蓑藁製作技術の確保計画
- ⑥古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作
- ⑦笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業
- ⑧三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむための教育プログラムづくりとその普及の試み

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2022

ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、新型コロナウイルス感染症蔓延下の経験を活かし、国内講師による講座は対面、国外講師による講座は zoom 中継もしくは完全オンラインと、3つの受講方法を設定し開催しました。

テーマは、「Re:SHARE」。京都芸術センターに加え、ワコールスタディホールをサテライト会場とし、オンラインでもクラスを開講したことで、さらに広がりあるダンスフェスティバルの方向性を打ち出すことができました。

開催日：4月29日～5月8日

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング 2022 (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能を一流の講師陣から学び、その成果を発表するプログラムです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、能と落語の2コースを開講しました。受講生は3週間弱の稽古を経て、大江能楽堂で発表会を開催しました。

開催日：7月24日～8月12日

受講者数：13名



発表会の様子（撮影：大島拓也）

(3) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2022

京都・日本、そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、国内・海外から先駆的な取組を行っている演出家を招へいする、舞台芸術の祭典です。

京都芸術センターでは、ティーンエイジャーたちを電話による出演者に迎えたサマラ・ハーシュ『わたしたちのからだ知っていること』、ミーシャ・ラインカウフによる展覧会『Encounter the Spatial -空間への漂流』を開催したほか、3か年にわたるリサーチプロジェクト「KansaiStudies」の集大成として『うみからよどみ、おうみへバック往來』を上演しました。また、Theatre E9 KYOTOで上演された、チーム・チープロ『女人四股ダンス』の制作に際して、制作室の提供等の協力を行いました。

開催日：10月1日～10月23日

(4) FOCUS 展#4 伊東宣明「時は戻らない」展

アーティストとして経験や実績を積み重ねてきた中堅アーティストを個展形式でとりあげる展覧会です。4回目の開催となる令和4年度は、京都在住のアーティスト、伊東宣明による個展を開催しました。

館内各所に「時間」にまつわる新旧の伊東の作品を配置したほか、ギャラリーーツアーやトークイベント、ライブパフォーマンスを開催し、作品や空間に流れる様々な時間のありかたを感じさせる展覧会となりました。

開催日：5月14日～7月18日

(5) 企画展「國盛麻衣佳・0electronica『記憶への手つき Handshake with Memory』」

アートコーディネーターによる企画として、ともに九州に地縁を持つ國盛麻衣佳・0electronica を招へいし、日々の生活の中で人々が使ってきた物を取り上げ、それらを消費財ではなく文化資源と捉え返す視点を提示する作品を展覧しました。

開催日：2月23日～3月26日

(6) 研修事業「舞台芸術と『性的表現』について考えるレクチャー・ワークショップ」

NPO 法人京都舞台芸術協会との共催で、堀あきこ氏（ジェンダー・セクシュアリティ、フェミニズム、メディア文化研究）を講師に迎え、女性やマイノリティの表象の問題について知識をアップデートし、創作現場等で感じた疑問を共に考えるワークショップを実施しました。

全国から計 80 名の舞台芸術関係者が参加し、意図しない差別や暴力の肯定を回避するため、表現者として求められる知識や態度を学びました。

開催日：3月7日、同月18日

3 先駆的・実験的事業

(1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022

ヴィラ九条山 30 周年を記念し、アンスティチュ・フランセ関西からの推薦でヴィラ九条山 2022 年度レジデント・アーティストである大島祐子（パーカッショニスト）に出演を依頼し、長唄三味線家の稀音屋千鶴と共演する無料コンサート『YÛGÔ（遊合）』を 10 月 1 日に開催しました。

ヨーロッパ現代ジャズと長唄特有の「ノリ」や「間」が即興で溶け合う、スリリングで耽美な演奏が満員の観客を魅了しました。

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

ダンスや演劇の稽古場、美術作品の制作場所として、制作室の使用を希望するアーティストや芸術団体を企画単位で公募し（年 2 回）、審査のうえ無償で提供しています（1 申請につき最長 3 箇月間）。

令和 4 年度は、計 79 件（68 団体）が制作室を使用しました。

(2) Co-program2022

京都芸術センターと協働して実施する企画をアーティストや芸術団体から公募し、審査を経て選定した事業を実施しました（応募：計 87 件、採択：計 12 件、1 件は中止）。
カテゴリー A：「共同制作」（公演事業）では 3 件、カテゴリー B：「共同開催」（展覧会事業）では 2 件、カテゴリー C：「共同実験」（リサーチ、レクチャー、ワークショップ等）では 2 件、カテゴリー D：「KAC セレクション」（公演事業／発表に限定した支援）では 4 件を開催しました。

実施事業一覧

カテゴリーA 「共同制作」(公演事業)	額田大志×山下恵『FURUMAIiiiiiiiiiiiiiii』 KAKUHAN 『musica s/tiring』 nakice 『ABITA』
カテゴリーB 「共同開催」(展覧会事業)	林修平キュレーション『DAZZLER』 井上亜美 『The Garden』
カテゴリーC 「共同実験」(リサーチ、 レクチャー、ワークショップ等)	篠田千明『『まよかげ／Mayokage』ワーク・イン・プログレス公演・展示』 池田精堂『道具をめぐるリサーチ』
カテゴリーD 「KAC セレクション」(公演事業／発表に限定した支援)	田中みゆきキュレーション『音で観るダンスのワークイン プログレス』、 ヤニック・パジェ/N' SO KYOTO『《Consciousness》 弦理論 交響曲 第2楽章 量子』、 マルガサリ第2回定期公演『花のみち』vol.2、 John Cage Countdown Event 実行委員会『JOHN CAGE / DAVID TUDOR』



カテゴリーA (公演事業)
KAKUHAN 『musica s/tiring』
開催日：11月19日～20日



カテゴリーB (展覧会事業)
林修平キュレーション『DAZZLER』
開催日：11月5日～12月10日

(3) U35 創造支援プログラム事業「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35才以下のアーティストを公募し、令和3年度に応募37組から2組(空間現代、努力クラブ)を両施設による審査で選出し、令和4年12月に空間現代×三重野龍『汽』を、令和5年2月に努力クラブ『世界対僕』を上演しました。

また、前年度より延期となった敷地理『Hyper Ambient Club』を令和4年5月に上演しました。

制作面のアドバイスのほか、批評家に作品批評を依頼し、公演後に批評文を公開するなど、若手アーティストの活動のステップアップをサポートしました。

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

京都芸術センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的としたセンターならではの資料室を、ボランティア・スタッフの協力の下で運営しています（入場者総数：3,684人）。

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等を収集しました。

また、収集した情報を基に訪れる人が交流できるスペースを設置しています。

(3) 京都芸術センター・メールニュースの発行

毎月、メールニュース「京都芸術センター通信」を配信し、開催予定のイベント等、幅広い情報を発信しています（登録数：約1,500名）。

(4) 京都芸術センターウェブサイト、SNSによる発信

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信しました（アクセス件数：385,246件）。

(5) 京都文化芸術総合オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）の運営

京都市の文化芸術全般の情報を集約するホームページを運営しています（アクセス件数：176,628件）。京都市内で実施されるものを中心としたイベント情報のほか、各種奨励金や助成情報、アーティストが執筆するエッセイなど、多様な情報を掲載しています。

2 教育普及事業

(1) 鑑賞支援プログラム 「拝啓 京都芸術センターへまだ来たことのない貴方へ」

アートコーディネーターによる企画として、新規来館者に向けた鑑賞支援事業を実施しました。対話型鑑賞の手法を活用し、現代美術の展覧会や現代演劇、市民狂言会など4つの事業を鑑賞し、鑑賞者同士が感想を語り合う機会を創出することで、様々な作品の魅力を発見していただく機会になりました。

京都芸術センターへ来館されたことがない方から、事業に対する意見や感想、新たな視点での評価をいただくことができ、スタッフにとっても大変有意義な事業となりました。



企画展『記憶への手つき』を
鑑賞する参加者

（令和5年2月25日）

(2) その他

広報活動の一環として、視察・施設見学を受け入れています。令和4年度は、23件の視察・見学への対応を行いました。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

今年度は、コロナ禍で延期となっていた公募採択アーティストユニット、Pa. LaC. E (イギリス・オランダ) の招へいを実現したほか、エクスチェンジプログラムでは、ドイツ・台湾へ各1名を派遣、オーストラリア、台湾から各1名を招へいし、コロナ禍で実施が困難となっていた国際的なレジデンス事業を、ほぼ平常通りのかたちで再開・実施することができました。

さらに、新たにノルウェーの非営利財団Office For Contemporary Art Norway (OCA) と連携し、1名を受け入れました。

このほか、新型コロナ禍以降のアーティスト・イン・レジデンスや文化情勢の課題について、国際的に議論するシンポジウム「AIR on air 2.0」を、京都芸術センターとEUNIC関西との共同主催事業(協力: AIR_J)として、オンライン及び現地のハイブリッド形式で実施しました。

2022年度アーティスト受入・派遣状況一覧

【京都での滞在制作】

滞在期間	参加者名	居住国/ジャンル	区分/
7月～8月	Pa. LaC. E *2021年度から延期分	スイス/美術・建築・ デザイン	公募 (ビジュアルアーツ部門)
9月～10月	ジェナ・リー *2020年度から延期分	オーストラリア/工芸・ 美術	エクスチェンジ /ARTSPACE (シドニー)
10月	アンチー・リン	台湾/パフォーマンス	エクスチェンジ /ADAM (台北)
12月～1月	アガタ・ マグダレーナ・ スリコフスカ	ノルウェー/美術	受け入れ/OCA

【海外での滞在制作】

滞在期間	参加者名	渡航先/ジャンル	区分
6月～7月	アリーナ・ジダーノワ	ドイツ・ケルン /美術	エクスチェンジ /Quartier am Hafen
8月	花形慎	台湾・台北 /パフォーマンス	エクスチェンジ /ADAM



Pa. LaC. E 成果報告展「あずみと庵」
開催日：9月10日～18日
(撮影：松本成弘)



OCA アガタ・マグダレーナ・スリコフスカ成果報告展
開催日：令和5年1月27～29日

(2) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業 (再掲)

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) 明倫ワークショップ・STUDIO OPEN DAY

年間を通じて、制作室利用者の取り組みを市民に紹介する「明倫ワークショップ」を開催しました。

また、京都芸術センター事業への理解促進と、賑わい創出を眼目に、「明倫ワークショップ」や京都芸術センターの様々な事業を集中的に紹介する「STUDIO OPEN DAY」を年間2回開催し、好評を得ました。

開催日：9月16～18日、令和5年3月25～26日

参加者数：62名、77名

STUDIO OPEN DAY vol12 チラシ
(令和5年3月25～26日開催)



(2) 明倫レコード倶楽部

いしいしんじ氏 (小説家) を講師に、レコードを鑑賞する会を2回開催しました。

9月28日は「エレキの会」と題しレコードをレコードプレーヤーで、12月8日は「生の会」と題してSPレコードを蓄音機で鑑賞しました。

(3) 『痲瘡譚』上映会+トーク《異漬け！！》

アートコーディネーターの企画により、土方異アスベスト館、NPO 法人舞踏創造資源の協力のもと、伝説的舞踏家・土方異の代表作『痲瘡譚』の映像上映とトークイベントを開催しました。

延べ200名を超える方にお越しいただき、舞踏の記念碑的作品への興味関心を再確認することができました。

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) ボランティア・スタッフ

展覧会や図書室の看視や公演の受付など、京都芸術センターの活動を様々な形で支えています。

また、ボランティア・スタッフ有志の自主的活動である京都芸術倶楽部や茶の湯サロン「いっぷく」を開催するなど、ボランティア・スタッフ同士の交流も盛んに行われました。

※登録者数：207名（令和5年3月31日現在）

(2) サポーター（友の会・協賛会）

芸術センターの活動を支援し、会員相互の交流を深めることを目的とした「友の会」と、協賛金として資金援助を行う「協賛会」の二つの支援組織を運営しています（友の会：個人17名、団体・法人5社／協賛会：団体・法人3社／令和5年3月現在）。

(3) 地域との連携事業

地域の実行委員会が主体となり、ペトロフピアノコンサートを、コロナ禍を経て2年ぶりに実施しました（4月8日）。

明倫自治連合会主催の文化祭「明倫フェスタ」や運動会も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施しました。

4 ネットワーキング

(1) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとして発足し、令和4年度は、メーリングニュースを通して京都の文化芸術の情報を発信しました。

(2) パートナーシップ／ネットワーク

京都市内外の他機関とのパートナーシップにより連携機能を強化し、幅広いネットワークを構築することを目指しています。

(参考) 職員その他機関への参画状況 (主要なものを抜粋)

従事者	招へい元	従事事業	身分
竹内香織	京都市	京都市はぐくみ推進審議会	委員
佐野晶子	愛知県芸術劇場	舞台芸術インターンシップ・プログラム アクセシビリティ特別講座	講師
佐野晶子	龍谷大学	国際学部「アートマネジメント」	講師
安河内宏法	東山アーティスト・プレースメント・サービス	東山アーティスト・プレースメント・サービス実行委員会	実行委員
安河内宏法	成安造形大学	美術領域「美術論」	講師
谷竜一	公益財団法人セゾン文化財団、横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会	舞台芸術 AiR ミーティング	登壇者
谷竜一	京都芸術大学 (旧京都造形芸術大学)	総合造形コース	特別講師
谷竜一	滋賀県立陶芸の森	令和4年度アーティスト・イン・レジデンス研究会	登壇者
谷竜一	山口情報芸術センター[YCAM]	中園町ミートアップ vol.32	トークゲスト

公益財団法人京都市芸術文化協会

庶務の概要

1 役員等に関する事項

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	赤松 玉女	元. 6. 26	京都市立芸術大学 学長
〃	石徳 和彦	4. 6. 29	株式会社京都新聞COM事業推進局長
〃	井尻 荷葉	元. 6. 26	第1部門（文芸）から選出された会員
〃	衛藤 照夫	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	小久見豊子	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	音羽菊寿寿	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	塚本 芳子	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	納屋 嘉人	〃	京都商工会議所 文化・情報部会 部会長
〃	菱井喜美子	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	福永 治	3. 9. 30	京都国立近代美術館 館長
〃	藤澤 浩一	4. 6. 29	NHK京都放送局 局長
〃	三木町宣行	元. 6. 26	第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員
〃	山田 実	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	山中 博昭	3. 6. 29	京都市文化芸術政策監
〃	和田 好宏	2. 6. 30	独立行政法人国際交流基金京都支部 支部長
理事長	近藤 誠一	3. 6. 29	元文化庁長官（京都市が選定する学識経験者）
副理事長	村山 明	〃	第3部門（造形）から選出された会員
専務理事	山下 聡	4. 7. 1	文化市民局文化芸術都市推進室担当部長（京都市が選定する行政経験者）
業務執行理事	建畠 哲	3. 6. 29	元京都市立芸術大学長（京都市が選定する学識経験者）
理事	石原 完二	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	大木 富志	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	桑原 仙溪	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	茂山あきら	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	白井 進	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	砂川 敬	〃	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長
〃	田中 誠二	〃	京都芸術センター運営委員会 委員長
〃	細尾 真生	〃	一般社団法人京都経済同友会 常任幹事
〃	松尾 恵	〃	第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員
〃	森川 佳昭	〃	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
監事	中路 健一	元. 6. 26	公認会計士
〃	牧澤 憲	4. 4. 1	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課事業推進担当課長

2 会議に関する事項

(1) 評議員会・理事会

開催年月日・会場	議事事項	会議の結果
第1回理事会（書面表決） 令和4年4月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 重要な使用人の選任及び解任 役員報酬の変更 令和4年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 	原案どおり可決 〃 〃
第1回評議員会（書面表決） 令和4年4月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 監事の選任 	原案どおり可決
第2回理事会 令和4年6月14日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業実績報告 令和3年度決算 令和4年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 令和4年度京都市芸術文化協会賞及び新人賞受賞者の決定 	原案どおり可決 〃 〃 4人決定
第2回評議員会 令和4年6月29日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業実績報告 令和3年度決算 評議員の選任 評議員の選任 理事の選任 	原案どおり可決 〃 〃 〃 〃
第3回理事会（書面表決） 令和4年7月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事（専務理事）の選定 	原案どおり可決
第4回理事会（書面表決） 令和5年2月10日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人京都市芸術文化協会経理規程の改正 	原案どおり可決
第5回理事会 令和5年3月28日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第一次補正予算 令和5年度事業計画 令和5年度予算 次期芸術文化会議委員の選任 新規会員の入会 募金目論見書 	原案どおり可決 〃 〃 〃 〃 〃

(2) 芸術文化会議

開催年月日	会場
令和4年5月25日（水）	京都芸術センター 講堂
令和4年12月5日（月）	京都芸術センター 講堂
令和5年2月27日（月）	ウイングス京都 セミナー室

(3) 企画・交流委員会

開催年月日	会場
令和4年5月16日（月）※	京都芸術センター ミーティングルーム2
令和4年7月13日（水）	京都芸術センター ミーティングルーム2
令和4年8月25日（木）	京都芸術センター ミーティングルーム2

(3) 調査・編集委員会

開催年月日	会場
令和4年5月16日（月）※	京都芸術センター ミーティングルーム2
令和4年7月11日（月）	京都芸術センター ミーティングルーム2
令和4年9月5日（火）	京都芸術センター 講堂

※令和4年5月16日（月）は、企画・交流委員会、調査・編集委員会合同で開催。

公益財団法人京都市芸術文化協会
令和4年度（2022年度）事業実績報告

資料編

I 自主事業

番号	事業名	実施日	サブタイトル	会場等	入場者数	アクセス数	受賞者数等
1	芸術文化に関する調査研究及び情報の提供						
1 (1)	文化誌「藝文京」の発行 142号 (年1冊)	2023/3/31	文化・ビジネス・アート	—	—	1,200	—
1 (1)	座談会「文化庁がやってくる！」	2022/12/22	高田行紀×建島哲×渡辺健一郎	ミーティングルーム2	—	—	—
1 (2)	協会ウェブサイトの運営	—	—	—	—	25,686	—
2	各種芸術文化事業の実施及び奨励 (後援・共催)						
2 (1)	第73回華道京展 (共同主催)	2022/4/7~11	「花と遊ぶ」	大丸ミュージアム<京都>	7,693	—	—
2 (2)	市民狂言会 (共同主催) 【後掲】					—	—
2 (3)	各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)					—	60
3	芸術文化に関する教育及び普及						
3 (1) ア	藝文京芸術教室～ガイジュツのミカタ～	2023/2/8	〔現代美術編〕鏡としてのアーティスト：アンディ・ウォーホルと社会	京都市京セラ美術館	12	—	—
3 (1) イ	藝文京芸術教室～ガイジュツのミカタ～	2023/2/21	〔書道編〕読む？見る？味わう！書に出会う愉しみ	大丸ミュージアム<京都>、京都市男女共同参画センターウイングス京都	20	—	—
3 (1) ウ	藝文京芸術教室～ガイジュツのミカタ～	2023/3/10	〔工芸編〕村山明にきく、人間国宝・黒田辰秋	アサヒビル大山崎山荘美術館、大山崎ふるさとセンター	11	—	—
4	芸術家等の育成及び顕彰						
4 (1)	京都いけばなプレゼンテーション2022	2022/6/4~6	華やいだくらし 薔薇をいける	講堂・大広間 フリースペース	1,721		47名45作品 (29流派)
4 (2)	第47回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	中止	—	—	—	—	—
4 (3)	芸術家等の顕彰	2022/7/7	京都市芸術文化協会賞 同新人賞	ホテルオークラ京都	—	—	4
5	その他会員関連活動						
5 (1)	総会・懇親会	2022/7/7	京都市芸術文化協会賞 同新人賞	ホテルオークラ京都	73	—	—
5 (2)	協会の魅力発信事業 (広報)	—	ds	—	—	—	—
5 (3)	藝文京サロン	毎月第一木曜 9回開催(7,8,1月を除く)	—	講堂、カフェ、ミーティングルーム2、 前田珈琲本店	287	—	—

Ⅱ 受託・共同主催事業

番号	事業名	主催団体	実施日	会場	入場者数 (利用者数)	視聴者数	オンライン配 信有無	事業小計
1	令和4年度市民狂言会（第266回～第269回）	京都市、京都市 芸術文化協会	2022/6/3、 2022/8/19、 2022/12/2、 2023/3/3	京都観世会館	第266回 208名 第267回 197名 第268回 221名 第269回 205名		なし	831
2（1）	文化芸術授業（ようこそアーティスト） *詳細は参考資料1を参照	京都市	2022/9/2～ 2023/2/17	各小・中学校、幼稚園、 保育所（園）、総合支援 学校等 60箇所			なし	3,598
2（2）	伝統公演授業（ようこそ和の空間）	京都市	2023/2/10	京都観世会館	872		なし	
2（3）	京の伝統文化体験事業「放課後も！ようこそアーティスト」*詳細は参考資料1を参照	京の伝統文化体 験実行委員会	2022/10/～ 2023/2/18	児童館 9箇所	のべ508		なし	508
2（4）	京の伝統文化体験事業「親子でも！ようこそ和の空間」	京の伝統文化体 験実行委員会	2023/2/11	金剛能楽堂	262		なし	262
2（5）	教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演	札幌市教育文化 会館	2022/7/20	札幌市教育文化会館	635		なし	635
3	伝統芸能文化創生プロジェクト （共同主催）【後掲】							
4	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞 台芸術祭2022（共同主催）【後掲】							
5	アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事 業【後掲】							

6	R4年度 相談対応総数		2022/4/1- 2023/3/31	KACCO	653		なし	653
6	個別相談会-制作現場のメンタルケア		2022/6/3,18	京都芸術センター内(館 長室)、オンライン	7		ライブ配信	7
6	個別相談会-制作現場のメンタルケア		2022/9/9	オンライン	3		ライブ配信	3
6	こころのケアのための個別相談会（個別 相談会-制作現場のメンタルケア）		2022/11/4,11,22, 25	京都芸術センター内(館 長室)	4		なし	4
6	税務署職員によるインボイス制度説明会	京都市文化芸術 総合相談窓口 (KACCO)	2022/12/6	ミーティングルーム 2	25		なし	25
6	公募助成プログラム説明会：アーツサポ ート関西、おおさか創造千島財団 編		2022/12/21	ミーティングルーム 2	9		なし	9
6	こころのケアのための個別相談会（個別 相談会-制作現場のメンタルケア）		2023/1/12,19,20, 26	オンライン	5		ライブ配信	5
6	税理士による確定申告相談会 ～今日や ろう！文化芸術関係者の確定申告～		2023/2/9,22	ミーティングルーム 2	11		なし	11
6	アートのインフラを再発明する		2023/3/11	和室「明倫」	14		収録配信	14
6	ゲスト相談員の日 #1 荒木悠さん		2023/3/23	KACCO	4		なし	4
7	京都市助成金等内定者資金融資制度 （融資窓口業務）		京都市	通年	-	10		
8	京都市自治記念式典オープニング	京都市	2022/10/15	ロームシアター京都	389			389

Ⅲ芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センター事業）

NO	事業名	サブタイトル・関連企画	実施日	会場	オンライン配信有無	出演者、講師、アーティスト名	参加者 (入場者) 数	視聴者数	アクセス数	事業小計
活動センター機能										
1 伝統的芸術の継承・創造事業										
1 (1)	明倫茶会	第155回明倫茶会 「サラム海上のグローバルミュージック茶会」	2022/12/3	講堂、フリースペース	なし	席主：サラム海上（音楽評論家・DJ・中東料理研究家）	82			82
1 (2)	伝統芸能文化創生プロジェクト【TARO】	伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム 新規採択者	通年	福井県、兵庫県	なし	若手へ向けた鯖江人形浄瑠璃の技能継承と他地域との交流（福井県）、社・東条を中心とした播州音頭踊りの継承と発信プロジェクト（兵庫県）	2			2
		伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム 過去採択者	通年	奈良県、京都市、佐賀県ほか	なし	十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信（奈良県）、新素材による鉦ずりの試作と生産業者の探索（京都市）、見島のカセドリ蓑藁製作技術の確保計画（佐賀県）、古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作（京都市）、笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業（島根県）、三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむための教育プログラムづくりとその普及の試み（京都市）	6			6
		相談窓口対応件数	2022/4/1～ 2023/3/31		-		286			

2 芸術家・芸術関係者育成事業

2 (1)	京都国際ダンスワークショップフェスティバル2022		2022/4/29～5/8	講堂・フリースペース ／ワコールスタディ ホール／オンライン	ライブ配信	アマンダ・ミラー、東野祥子、カティア・ムストーン、島田櫻、西嶋明子、寺田みさこ、北村明子、高嶺格、秋津さやか、坂本公成+森裕子、きたまり、辻本佳、倉田翠、康本雅子、村上渉、北村明子、野村香子	1,007			1,007
2 (2)	トラディショナル・シアター・トレーニング2022		2022/7/24～8/12	稽古：京都芸術センター、発表会：大能楽堂	なし	片山伸吾、田茂井廣道、大江信行、桂吉坊、桂二豆、久田陽春子、高橋奈王子ほか	受講生： 13名、 発表会： 59名			72
2 (3)	KYOTO EXPERIMENT 2022	サマラ・ハーシュ「わたしたちのからだ が知っていること」	2022/10/1～10	講堂	なし	サマラ・ハーシュ、関西圏および 東京のティーンエイジャー	113			113
		KANSAI Studies「うみからよど み、おうみへバック往来」	2022/10/14～16	フリースペース	なし	dot architects、和田ながら、 ほか	279			279
		ミーシャ・ラインカウフ「Encounter the Spatial - 空間への漂流」	2022/10/1～24	制作室1	なし	ミーシャ・ラインカウフ	2,866			2,866
2 (4)	FOCUS #4「伊東宣明展」	「時は戻らない」	2022/5/14～ 7/18	ギャラリー北・南	なし	伊東宣明	4,250			4,250
2 (5)	企画展	『記憶への手つき』	2023/2/23～3/26	ギャラリー北・南	なし	國盛麻衣佳、Electronica	2,166			2,166
2 (6)	研修事業	「舞台芸術と性的表現について考 えるレクチャー・ワークショップ」	2023/3/7、3/18	ミーティングルーム2	ライブ配信	講師：堀あきこ先生（ジェン ダー・セクシュアリティ、フェミニズ ム、メディア文化） 共催：NPO法人京都舞台芸 術協会	80			80

3 先駆的・実験的事業

3 (1)	ニュー・プランシ KYOTO 2022	『YUGO/遊合』	2022/10/1	フリースペース	なし	出演：大島祐子×杵音家千鶴	150			150
-------	------------------------	-----------	-----------	---------	----	---------------	-----	--	--	-----

4 制作・発表支援事業

4 (1)	制作支援事業	制作室使用者募集	通年	制作室1~12	なし	79企画 (68団体)	68			68
4 (2)	Co-program2022 カテゴリーA：「共同制作」	額田大志×山下恵 『FURUMAIiiiiiiiiiiii』	2022/8/6~7	館内各所	なし	音楽・演出：額田大志 振付・演出：山下恵実 「ふるまい部」参加者17名	102			102
		KAKUHAN 『musica s/tiring』	2022/11/19~20	講堂、フリースペース	なし	出演：KAKUHAN (日野浩志郎、中川裕貴)	144			144
		nakice『ABITA』	2022/12/16~18	講堂	なし	出演：シマダタダシ、藤代洋平、奥野美和	68			68
	Co-program2022 カテゴリーB：「共同開催」	展覧会『DAZZLER』	2022/11/5~12/10	ギャラリー北・南	なし	企画：林修平 出展：飯山由貴、木原結花、五月女哲平、永田康祐、林修平、吉田裕亮	3,537			68
		井上垂美『The Garden』	2023/1/7~2/12	ギャラリー北・南	なし	出展：井上垂美	1,720			1,720
	Co-program2022 カテゴリーC「共同実験」	篠田千明『まよかげ／Mayokage』ワーク・イン・プログレス公演・展示	公演：2023/2/10~12 展示：2023/2/16~19	制作室1	なし	出演・制作：篠田千明、ナン・ウイナント・ウィチャクソノ、たかくらかずき、西田有里	150			150
		池田精堂 『道具をめぐるリサーチ』	通年	京都市動物園、中京消防署など	なし	池田精堂	—			—
Co-program2022 カテゴリーD「KACセレクション」	『音で観るダンスのワークインプログレス』	2022/6/11~12	フリースペース	なし	企画：田中みゆき 振付・出演：康本雅子 出演：鈴木美奈子 サウンド：荒木優光	170			170	

4 (2)	Co-program2022 カテゴリーD「KACセレ クション」	ヤニック・パジエ/N'SO KYOTO 《Consciousness》弦理論交響 曲 第2楽章 量子	2022/6/24~26	フリースペース	なし	ヤニック・パジエ、黒川徹、橋本 幸士	138			170
		マルガサリ第2回定期公演『花のみ ち』vol.2	2022/9/11	フリースペース	なし	出演：マルガサリ ゲスト：會田瑞樹、野村誠、ミ カノハラ・ガムランププロジェクト	141			141
		John Cage Countdown Event 実行委員会『JOHN CAGE / DAVID TUDOR』	2022/11/26~27	フリースペース、講堂	なし	出演：恵良真理、Gak Sato、吹田哲二郎、竹村延 和、ニシジマ・アツシ、Haco、村 井啓哲、森本ゆり	191			191
4 (3)	U35創造支援プログ ラム事業「KIPPU」	空間現代×三重野龍『汽』	2022/12/9~11	ロームシアター京都 ノースホール	なし	音楽・出演：空間現代 グラフィック・出演：三重野龍	267			267
		努力クラブ『世界対僕』	2023/2/9~12	ロームシアター京都 ノースホール	なし	作・演出：合田団地	506			506
		敷地理「Hyper Ambient Club」	2022/5/4~ 6	ロームシアター京都 ノースホール	なし	演出・振付：敷地理 音楽・DJ：荒井優作	346			346

1 芸術文化情報の収集・発信事業

1 (1)	図書室の運営		通年		-	-	3,684			3,684
1 (2)	情報コーナーの運営		通年		-	-	-			-
1 (3)	京都芸術センター・メールニュースの発行	京都芸術センター通信	毎月発行 (全12回)		-	-	1,833			1,833
1 (4)	京都芸術センターウェブサイト・SNS		通年		-	-			385,246	385,246
1 (5)	KYOTO ART BOX		通年		-	-			176,028	176,028

2 教育普及事業

2 (1)	鑑賞支援プログラム	「拝啓 京都芸術センターにまだ来たことのない貴方へ」	2023/1/8、1/28、 2/11、2/25、3/3、 3/4	ギャラリー北・南/ ロームシアター京都 ノースホール/観世 会館ほか	なし	ファシリテーター：遠藤歩	11			11
2 (2)	その他	視察・施設見学の受け入れ	通年	全館	なし		23			23

1 国際交流事業

1 (1)	アーティスト・イン・レジデンス	公募プログラム採択：PaLa.C.e アーティストトーク	2022/6/24	ミーティングルーム2	なし	登壇：Pa.LaC.E、加藤大志 (服部天神)、嶋田和代(サ カイ引越センター)	19		19
		公募プログラム採択：PaLa.C.e 展覧会「あずみと庵」	2022/9/10~18	和室「明倫」	なし	PaLa.C.e	240		240
		エキスチェンジ：ADAM 成果発 表会	2022/10/29	フリースペース、制作 室8	なし	花形慎、アンチー・リン	37		37
		エキスチェンジ：ARTSPACE ジェナ・リー 成果報告展	2022/10/26~30	制作室4	なし	ジェナ・リー	63		63
		エキスチェンジ：OCA 日本画ミニ ワークショップ	2022/12/24	和室「明倫」	なし	ゲスト：アガタ・マグダレーナ・スリ コフスカ、講師：ベリーマキコ	13		13
		エキスチェンジ：OCA 連携企画 アガタ・マグダレーナ・スリコフスカ成 果報告展・アーティストトーク	2023/1/27~29	堀川団地内特設 ギャラリー	なし	アガタ・マグダレーナ・スリコフスカ	集計なし		
		エキスチェンジ：Quartier am Hafen レジデンス報告会	2023/1/21	オンライン	なし	アリーナ ジダーノワ、松延総司	9		9

1 (1)	アーティスト・イン・レジデンス	ハイブリッドシンポジウム「AIR on air 2.0」	2022/12/16	ゲーテ・インスティ トゥート・ヴィラ鴨川 ／オンライン	ライブ配信	登壇:【セッション1】三原聡一郎 (日本)、ジュリア・ベリネッティ (オランダ)、マーティン・ゲルマ ン(ドイツ/日本)、フェリッ クス・グローセ＝ローマン(ドイツ) 【セッション2】ハイジ・ヴォーゲル (オランダ) ジュリエット・ナップ(日本)、ミ ハイロ・グルボキ(ウクライナ)、 ヴィンセント・ゴンザレス(フラン ス) モデレーター:【セッション1】ロ ジャー・マクドナルド(日本) 【セッション2】山本麻友美(日 本)	19	89		108
1 (2)	アーティスト・イン・レ ジデンス連携拠点事 業	AIR_ J運営	通年	-	なし				272,271	272,271
		アーティスト・イン・レジデンスに関するアンケート調査	2023/2/15～3/14	オンライン	なし		26			26
2 市民及び芸術家相互の交流事業										
2 (1)	明倫ワークショップ	STUDIO OPEN DAY vol.1	2022/9/16～18	館内各所	なし	制作室利用アーティストほか	62			62
		STUDIO OPEN DAY vol.2	2023/3/25～26	館内各所	なし	制作室利用アーティストほか	77			77
		Monochrome Circus「フロア ムーブメント」	2022/4/2	制作室7	なし	Monochrome Circus	2			2
		京都フィロムジカ管弦楽団「室内 楽コンサート」	2022/4/3	フリースペース	なし	京都フィロムジカ管弦楽団	1			1

2 (1)	明倫ワークショップ	畠中光享「日本画ってなに？を語る」	2022/4/3	制作室 4	なし	畠中光享	4			4
		安住の地「身体感覚の言い換えゲームをやってみよう！」	2022/4/8	制作室 5	なし	安住の地	5			5
		井上拓哉「二人で絵を描く会」	2022/4/2~30	制作室4	なし	井上拓哉	11			11
		キノG-7「キノG-7 稽古公開」	2022/5/5	制作室 3	なし	キノG-7	7			7
		はなもとゆか×マツキモエ「ボディワーク」	2022/5/20	制作室10	なし	はなもとゆか×マツキモエ	7			7
		努力クラブ／合田団地	2022/5/25	フリースペース	なし	努力クラブ	8			8
		安住の地「『身体感覚さんぽ』をしてみよう」	2022/6/2	制作室4	なし	安住の地	3			3
		三原聡一郎「表現者の為の電子工作ワークショップ（プログラム編）#4」	2022/6/20	制作室 2	なし	三原聡一郎	3			3
		駒優梨香「テキストを読む」	2022/6/10	制作室 7	なし	駒優梨香	5			5
		鳥公園「『abさんご』の公開稽古」	2022/6/26	制作室 7	なし	鳥公園	11			11
		幻灯劇場「『鬱憤』公開稽古」	2022/7/3	講堂	なし	幻灯劇場	24			24
		このしたやみ「内田百閒『ノラや』を読んでみる」	2022/7/5	制作室 3	なし	このしたやみ	6			6
		セレノグラフィカ「『夜のことば』を踊ってみよう！」	2022/7/9	制作室7	なし	セレノグラフィカ	3			3

2 (1)	明倫ワークショップ	下鴨車窓「台本の書き方をいっしょに考えてみる」	2022/7/17	制作室 1 0	なし	下鴨車窓	7			7
		中野劇団『『笑わせる』ことにちよつと向き合ってみる』	2022/7/24	制作室 7	なし	中野劇団	9			9
		トリコ・A『『へそで、嗅ぐ』公開稽古』	2022/8/8	制作室 9	なし	トリコ・A	7			7
		コジカレーベル / 移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！「コジカレーベル / 移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！」	2022/8/10	制作室 1	なし	コジカレーベル / 移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！	9			9
		劇団三毛猫座『『くじらの昇る海底』を読む』	2022/8/13	制作室 8	なし	劇団三毛猫座	7			7
		Easy+Nice「暗闇の中でシンセサイザー音楽を聴く」	2022/8/13	制作室 1 1	なし	Easy+Nice	5			5
		Monochrome Circus「ふれることから」	2022/08/19	制作室 1 0	なし	Monochrome Circus	4			4
		Easy+Nice「自分のための踊りをおどる (Self Dance) 」	2022/08/20	制作室 1 1	なし	Easy+Nice	5			5
		8.22企画「M. チェーホフ演技テクニックで『さくらんぼ畑』を読んでみる」ほか	2022/8/27	制作室 1 0	なし	8.22企画	14			14
		渡邊野子「私だけの美しい世界を描く - 2022 夏」	2022/9/2	制作室6	なし	渡邊野子	9			9
		笑の内閣「ラジオドラマをとってみよう」	2022/9/6	制作室11	なし	笑の内閣	1			1
京都フィロムジカ管弦楽団「室内楽演奏会」	2022/9/24	講堂	なし	京都フィロムジカ管弦楽団	8			8		

2 (1)	明倫ワークショップ	おでこ「演じるって何だろう？物語るって何だろう？」	2022/9/24	制作室6	なし	おでこ	4			4
		劇団アケオーラコミンチャ「発声練習～発声のための身体作りから外郎売まで～」	2022/10/3	ミーティングルーム2	なし	劇団アケオーラコミンチャ	5			5
		絃楽合奏団B-one「マンドリンオーケストラで聴く日本の近代音楽とイタリア・マンドリンオリジナル」	2022/10/22	制作室5	なし	絃楽合奏団B-one	4			4
		夕暮れ社 弱男ユニット／稲森明日香「バラバラになった洋服をあたらしく組み立て直してみる。」	2022/11/12	フリースペース	なし	稲森明日香	5			5
		ヨーロッパ企画「LINEでネタだしワークショップ」	2022/11/12	フリースペース	なし	ヨーロッパ企画	7			7
		企画団体〈世界平和〉「舞台『DOOR』後日分析会」	2022/11/27	ミーティングルーム2	なし	企画団体〈世界平和〉	4			4
		はなもとゆか×マツキモエ「ボディ・ワーク」	2022/11/29	制作室10	なし	はなもとゆか×マツキモエ	8			8
		愛知県芸術劇場「上演とは何か？『リンチ（戯曲）』上演のためのクリエイションを振り返る」	2022/12/4	オンライン	ライブ配信	愛知県芸術劇場	4			4
		ルドルフ「本気で稽古するPart2」	2022/12/6	制作室8	なし	ルドルフ	5			5
		THE GO AND MO'S「舞台芸術作品のつくりかた～「制作」について」	2022/12/8	制作室11	なし	THE GO AND MO'S	1			1
		安住の地「『安住の地』の戯曲」	2022/12/21	制作室7	なし	安住の地	8			8
広田ゆうみ＋二口大学「からだで本をよむ18」	2022/12/22	制作室7	なし	広田ゆうみ＋二口大学	5			5		

2 (1)	明倫ワークショップ	トリコ・A「リーディング公演2022『ふち』稽古見学」	2022/12/5	制作室9	なし	トリコ・A	5			5
		お寿司「お寿司手法 ―ヘレンの場合―」	2023/1/7	制作室 4	なし	お寿司	4			4
		YOU—PROJECT「『あひると狐のフライパン』上演会（ビアトリクス・ポター『あひるのジマイマのおはなし』より）」	2023/1/14	制作室 4	なし	YOU—PROJECT	4			4
		したため「3つの『擬婉』についての話」	2023/1/17	制作室 6	なし	したため	5			5
		安住の地 中村彩乃「若手世代のための『演劇を続ける／つくる』ワークショップ」～「架空の公演をつくってみる」／「京都芸術センターを使いつくしてみる」	2023/1/22,29	制作室 3、2	なし	中村彩乃	23			23
		Monochrome Circus「ふれることから」	2023/2/18	制作室 6	なし	Monochrome Circus	7			7
		マツムラアヤコ「革を染めてオリジナルのしおりを作ろう！」	2023/3/3	制作室1	なし	マツムラアヤコ	2			2
		セレノグラフィカ「身体を感じるってどんなこと？」	2023/3/3	制作室5	なし	セレノグラフィカ	3			3
		劇団飛び道具「『昔、サナエだった』公開稽古」	2023/3/5	制作室6	なし	劇団飛び道具	3			3
		遊劇体「朗読劇をつくろう～遊劇体『灯灯ふらふら』を演じる～」	2023/3/9	制作室3	なし	遊劇体	10			10
セレノグラフィカ「びっくりファミリーダンス！」	2023/3/20	制作室5	なし	セレノグラフィカ	6			6		

2 (1)	明倫ワークショップ	ニットキャップシアター「劇団の「初日稽古」を公開します！」	2023/3/26	制作室3	なし	ニットキャップシアター	6			6
2 (2)	明倫レコード倶楽部	[其ノ78]「エレキの会」	2022/9/25	フリースペース	なし	いしいしんじ	31			31
		[其ノ79]「生の会」	2022/12/18	フリースペース	なし		33			33
2 (3)	『庖瘡譚』上映会＋トーク	「巽漬け!!」	2022/8/20～21	講堂	なし	登壇：森下隆、野村香子	250			250
3 地域・学術・産業との連携事業										
3 (1)	ボランティア・スタッフ	登録者数	通年	-	-		207			207
3 (2)	サポーター（友の会・協賛会）		通年		-	友の会：個人17名、団体・法人5社 協賛会：団体・法人3社				
3 (3)	地域との連携事業	「ペトロフピアノコンサート」	2022/4/8	講堂	なし	西村由紀江	70			-
3 (3)	地域との連携事業	「明倫フェスタ」	2022/11/13～14	大広間・講堂	なし		310			-
4 ネットワーキング										
4 (1)	京都文化芸術コア・ネットワークの運営		通年		-				4,655	4,655

<参考資料1> 2 (1) 文化芸術授業(ようこそアーティスト) 実施実績一覧

実施日	分野	主な講師 (所属等)	実施児童館	行政区	対象	人数 (のべ)
9月2日	洋舞 (ダンス)	合田 有紀・野村 香子 (ゴータ企画)	西野小学校	山科区	2年	60
9月9日	日本舞踊	篠塚 梅扇、篠塚 瑞桜 ((公財) 京都市芸術文化協会 邦舞分野会員)	楊梅幼稚園	下京区	5歳児	27
9月15日	狂言	茂山 忠三郎・山口 耕道・山本 善之 (茂山忠三郎家)	祥豊保育園	南区	4,5歳児	38
9月20日 10月17日	陶芸	竹村 陽太郎 (清水焼団地協同組合)	待鳳小学校	北区	6年	59
10月5日	邦楽 (三味線・長唄)	杵屋 勝九郎 ((公財) 京都市芸術文化協会 伝統芸能分野会員)	洛風中学校	中京区	中学1,2,3年	45
10月14日	落語	桂 花團治	養徳小学校	左京区	6年	69
10月18日	写真	塚本 芳子・木村 充宏 ((公財) 京都市芸術文化協会 写真分野会員)	大將軍小学校	北区	5,6年	53
10月19日	落語	桂 吉坊・桂 二豆・はやしや 律子	久世中学校	南区	中学3年	170
10月19日	香道	加藤 暁籬 (聴花会)	烏丸中学校	上京区	中学2年	54
10月24日	能楽 (シテ方)	深野 貴彦・松野 浩行・樹下 千慧 ((公社) 能楽協会 京都支部)	南大内小学校	南区	5,6年	55
10月24日	華道	井田 益甫 (東福寺末生流/京都いけばな協会)	端山の丘こども園	伏見区	5歳児	30
10月27日	書道	白井 進・堂本 東邨 ((公財) 京都市芸術文化協会 書道分野会員)	松ヶ崎小学校	左京区	4年	63
10月28日	邦楽 (三味線:常磐津)	常磐津 都菰蔵・常磐津 都史 ((公財) 京都市芸術文化協会 伝統芸能分野会員)	大宅中学校	山科区	中学3年	87

10月28日	華道	日下 部一如 (日下部流/京都いけばな協会)	下京雅小学校	下京区	6年	55
10月28日	洋楽 (うた)	安本 佳苗・竹山 千晶 ((公財) 京都市芸術文化協会 洋楽分野会員)	嵐山小学校	右京区	6年	65
10月28日	現代美術 (動画・映像)	伊東 宣明	音羽小学校	山科区	6年	59
10月31日	能楽 (シテ方)	宇高 竜成 ((公社) 能楽協会 京都支部)	春日野小学校	伏見区	6年	43
10月31日	落語	桂 二乗・桂 弥っこ・はやしや 律子	小野小学校	山科区	6年	85
11月1日	落語	桂 二乗・桂 弥っこ・はやしや 律子	大藪小学校	南区	5年	68
11月1日	現代美術 (絵画・造形)	安藤 隆一郎	待賢幼稚園	上京区	4,5歳児	12
11月7日	狂言	茂山 茂・島田 洋海・山下 守之 (茂山狂言会)	梅津北小学校	右京区	6年	64
11月8日	華道	杉崎 翠山 (喜堂未生流/京都いけばな協会)	修学院第二小学校	左京区	6年	75
11月10日	日本舞踊	猿若 英晃 ((公財) 京都市芸術文化協会 邦舞分野会員)	宇多野小学校	右京区	6年	71
11月10日	洋舞 (モダンダンス)	有馬えり子・藤川 雅子・鷺尾 佳凜 (有馬バレエ/全京都洋舞協議会)	松尾小学校	西京区	6年	106
11月11日	短歌	川崎 綾子・林 桜子 ((公財) 京都市芸術文化協会 短歌分野会員)	上高野小学校	左京区	6年	53
11月14日	能楽 (囃子方)	森田 保美・林 大輝・井林 久登・井上 啓介 ((公社) 能楽協会 京都支部)	砂川小学校	伏見区	6年	66
11月15日	狂言	茂山 忠三郎・岡村 宏懇・山本 善之 (茂山忠三郎家)	西大路小学校	下京区	5・6年	47
11月 15日-16日	陶芸	谷口 良孝 (清水焼団地協同組合)	下鴨中学校	左京区	中学2年	153

実施日	分野	主な講師 (所属等)	実施児童館	行政区	対象	人数
11月16日	落語	桂二葉・桂二豆・おかの鏡	梅津中学校	右京区	中学1年	132
11月17日	現代美術 (動画・映像)	日野馨・やまときょうこ (アニメーションスープ)	鞍馬小学校	左京区	全学年	7
11月18日	狂言	茂山千五郎・井口竜也・山下守之 (茂山狂言会)	陵ヶ岡小学校	山科区	6年	51
11月18日	現代美術 (絵画・造形)	森太三	神川中学校	伏見区	育成	17
11月24日	狂言	茂山千五郎・島田洋海・山下守之 (茂山狂言会)	嵐山東小学校	右京区	6年	61
11月28日	マンガ	松井仁美・黒田早香 (京都精華大学・京都国際マンガミュージアム)	葵小学校	左京区	4～6年	15
11月29日	洋舞 (モダンダンス)	山中ひさの (Hisano Dance Art/全京都洋舞協議会)	美豆小学校	伏見区	3年	34
11月30日	洋舞 (クラシックバレエ)	神谷道子 (神谷道子バレエ研究所/全京都洋舞協議会)	宕陰小中学校	右京区	1,3,5年	5
12月1日	狂言	茂山忠三郎・岡村宏懇・山本善之 (茂山忠三郎家)	市原野小学校	左京区	6年	47
12月2日	書道	白井進・堂本東邨 ((公財) 京都市芸術文化協会 書道分野会員)	石田小学校	伏見区	6年	34
12月5日	華道	本多栄甫 (東山未生流/京都いけばな協会)	深草幼稚園	伏見区	5歳児	16
12月6日	洋楽 (器楽・合奏)	やぶくみこ	ひまわり保育園	左京区	4,5歳児	28
12月8日-9日	俳句	岡村美江 ((公財) 京都市芸術文化協会 俳句分野会員)	大宮小学校	北区	3年	110
12月9日	現代美術 (絵画・造形)	佐伯はる	岩倉南小学校	左京区	6年	137

実施日	分野	主な講師 (所属等)	実施児童館	行政区	対象	人数
12月12日	華道	小山 幸容 (華道表現派)	養正小学校	左京区	5年	17
12月12日	写真	吉本 和樹	大原野小学校	西京区	6年	43
12月13日	日本舞踊	藤間 勸祐悟・藤間 勸一麗 ((公財) 京都市芸術文化協会 邦舞分野会員)	広沢小学校	右京区	6年	60
12月14日	マンガ	黒田 早香・玉置 習 (京都精華大学・京都国際マンガミュージアム)	竹田小学校	伏見区	6年	56
12月15日	洋楽 (器楽・合奏)	Hide・エリンギ	北総合支援学校(中学部)	上京	1~3年	47
R5.1月12日	邦楽 (箏)	寺澤 雅楽信 (正派京都地区)	明親小学校	伏見区	4年	68
R5.1月17日	茶道 (抹茶)	米澤 宗昭 ((公財) 京都市芸術文化協会 茶道分野会員)	かすがのえんこども園	伏見区	5歳児	26
R5.1月19日	能楽 (ワキ方)	岡 充・宇高 徳成・惚明 貞助 ((公社) 能楽協会京都支部)	第四錦林小学校	左京区	3年	49
R5.1月24日	現代美術 (動画・映像)	海南 友子	朱雀第六小学校	中京区	6年	28
R5.1月26日 2月2日	茶道 (抹茶)	マイケル・ハーディ ((公財) 京都市芸術文化協会 茶道分野会員)	向島秀蓮小中学校	伏見区	8年	119
R5.1月27日	演劇**	横田 宇雄 (NPO法人京都舞台芸術協会)	山階南小学校	山科区	5年	112
R5.1月30日	演劇** (身体表現)	山口恵子 (NPO法人京都舞台芸術協会)	西京高校附属中学校	中京区	2年	118
R5.2月3日	演劇 (身体表現)	大熊ねこ (NPO法人京都舞台芸術協会)	久我の杜小学校	伏見区	4年	89
R5.2月8日	邦楽 (箏)	大木 富士 ((一社) 京都當道会)	九条弘道小学校	南区	6年	26

実施日	分野	主な講師 (所属等)	実施児童館	行政区	対象	人数
R5.2月13日	香	山田松香木店	朱雀第三小学校	中京区	6年	56
R5.2月16日	演劇** (身体表現)	今井 秋菜 (幻灯劇場/NPO法人京都舞台芸術協会)	桃陵中学校	伏見区	2年	84
R5.2月16日	洋楽** (器楽・合奏)	渡辺 亮	呉竹総合支援学校(小学部)	伏見区	全学年	60
R5.2月17日	茶道 (抹茶)	米澤 宗昭 ((公財) 京都市芸術文化協会 茶道分野会員)	桃陽総合支援学校 (中学部)	伏見区	1-3年	14

<参考資料1> 2 (3) 京の伝統文化体験事業「放課後も！ようこそアーティスト」実施実績一覧

実施日 (一部予定)	分野	主な講師 (所属等)	実施校	行政区	対象	人数
11月12日 12月3日	三味線	三宅 良・野村 格・松田 弥生	西京極西児童館	右京区	小1～6 保護者	32
11月28日	能	河村 晴久・宮本 茂樹 ((公社)能楽協会京都支部)	陵ヶ岡児童館	山科区	小1～6 保護者	90
12月27日 R5.1月6日	書道	白井 進・堂本 東邨 ((公財) 京都市芸術文化協会 書道分野会員)	京都御前児童館	中京区	小1～6 保護者	41
12月27日 R5.1月4日	書道	白井 進・堂本 東邨 ((公財) 京都市芸術文化協会 書道分野会員)	松陽児童館	西京区	小1～6 保護者	80
R5.1月5日 1月10日	日本舞踊	榎茂都 梅衣華・榎茂都 華絹 ((公財)京都市芸術文化協会 邦舞分野会員)	大宅児童館	山科区	小1～6 保護者	92
R5.1月21日 1月28日	華道	城野 真理子・正村 暁子 (池坊/京都いけばな協会)	桂坂児童館	西京区	小1～6 保護者	50
R5.1月21日 1月28日	茶道 (抹茶)	米澤 宗昭 ((公財) 京都市芸術文化協会 茶道分野会員)	桂徳児童館	西京区	小1～6 保護者	33
R5.2月18日	日本舞踊	音羽 菊寿寿 ((公財)京都市芸術文化協会 邦舞分野会員)	向島南児童館	伏見区	小1～6 保護者	28
R5.2月18日	狂言	茂山 千五郎・井口 竜也・山下 守之 (茂山狂言会)	室町児童館	上京区	小1～6 保護者	62